

## ケース スタディ

# Marshalls 社が Anaplan XL Reporting でより優れた BI 環境を構築

### 顧客の背景

Marshalls 社は、優れた天然石製品や革新的なコンクリート製の高硬度造園製品を製造する英国の大手メーカーです。130 年以上も前に設立された同社は、幅広い製品、デザイン サービス、技術的知識を専門として建設市場、住宅リフォーム市場、造園市場に製品を供給しています。

Marshalls グループは、自社が所有する採石場の管理から製品の製造、地域のサービスセンターの経営まで、多彩な事業利益ポートフォリオを運営しています。同グループは欧州、英国、中国の拠点全体で 2,000 人を超える従業員を擁しています。

### 課題

Marshalls 社は Microsoft SQL Server と Analysis Services を基礎とする成熟した広範なデータウェアハウスを 10 年以上にわたって発展させてきました。Microsoft Dynamics AX を全事業にわたって導入するという大規模なプロジェクトを最近完了し、信頼性の高い一貫したデータにアクセスできるようになりました。また、OLAP キューブをすべての事業部門とグループのすべての職務（営業、購買、ファイナンス、製造）に拡張できるようになっています。

Marshalls 社は、アドホックレポートや管理ダッシュボードレポートを作成するための主要な分析レポート作成ツールとして ProClarity を使用していました。ProClarity は優れたサービスを提供していましたが、開発が行われなくなっていったため、Marshalls 社は、複雑な階層に対処する ProClarity の能力を保ちながらも将来にわたって有効に使い続けられる代替ツールを探す必要がありました。ProClarity では、Marshalls 社がその他のソフトウェアをアップグレードするのに伴って互換性の問題が増加していました。特に ProClarity Excel アドインは、Excel 2003 までしかサポートしていませんでした。

Marshalls 社は、新しいソリューションならレポート作成を自動化して、管理レポートの作成によく使用される手動のスプレッドシートを削減できることに気づきました。また、「信頼できるバージョンが複数作成されること」を避けるため、より優れたレポート配布用ソリューションも必要としていました。このソリューションでは、Microsoft データウェアハウスへの既存の投資を活用する必要があります。パワー ユーザーは Excel で作業する傾向があるので、強力な Excel 統合が重要な考慮事項でした。Microsoft SharePoint が広く使用されているため、レポートを既存の SharePoint サイトに統合できる点も重要で、それが可能なソリューションが、既存の管理ダッシュボードスプレッドシートを置き換えるうえで理想的なソリューションです。

“

私たちは自社のビジネスの各所で Microsoft テクノロジーの導入に投資しています。今、当社の BI 戦略の中核を成しているのは Anaplan XL Reporting です。Anaplan XL Reporting を利用することで、自社のシステム内にある膨大な情報から最大の価値を引き出して、テクノロジー導入への投資を最大限に活用できています。

Andrew Worsley 氏  
情報システム プログラム マネージャー、Marshalls 社

### 顧客プロフィール

地域: 英国/欧州/中国

業種: 建設および造園

### ビジネスの状況

Marshalls 社は、Microsoft BI プラットフォームへの投資を 100% 活かせるようにレポート作成ツールと分析クライアント ツールをアップグレードし、それぞれ異なる専門知識を有する 450 人のユーザーに柔軟なセルフサービス モデルを提供する必要がありました。

### ソリューション

入念な評価の後に Anaplan XL Reporting が選ばれ、従来の ProClarity 環境が交換されて拡張されました。

パワー ユーザーは Excel 版を与えられており、レポートとダッシュボードを作成して、IT 部門の手を借りなくてもシンプルなウェブ公開プロセスを通じて広範囲に配布できます。

管理ユーザー、利用頻度の低いユーザー、レポート利用者は、公開されたレポートにアクセスできるほか、Anaplan XL Reporting を通じてスライス & ダイス分析を確認できます。

## ソリューション

Marshalls 社は、既存のデータ ウェアハウスと問題なく動作する可能性がある多数のソリューションについて初期評価を実施しました。Anaplan XL Reporting は早い段階から明確に高い評価を得て注目されていました。理由の一つとしては、Anaplan XL Reporting が Excel アドインであり、ユーザーがすでに Excel に慣れ親しんでいたことがあります。また、このソリューションなら、Marshalls 社がビジネスを分析する必要がある複雑な階層に対処できるのも理由です。ウェブ版では、管理チームの日次ダッシュボードレポートを自動化するためのソリューションや、レポートを全ユーザー コミュニティに配布する手段も提供されました。Marshalls 社は、グループ内の多数の主要ユーザーで Anaplan XL Reporting の徹底的な評価を実施しました。

Marshalls 社でファイナンスとビジネス インテリジェンスの情報システム プログラム マネージャーを務める Andrew Worsley 氏は、次のようにコメントしています。「Anaplan XL Reporting からは、数週間以上にわたって徹底的な評価を実施するにあたって、私たちが求めることができるあらゆるサポートを提供していただきました。Anaplan の方々は、製品の機能について明確な自信を持っていました。多くのソフトウェア ベンダーは、製品の制限が明らかになることを怖れて、製品のデモを一部しか行いませんし、このような十分な使用を許可することはありません。私たちは Anaplan XL Reporting がすべての要件を満たすことを証明できました。多くの人員と年月をかけて発展させてきた ProClarity レポート環境を移行することは、会社にとって大きな取り組みになることがわかっていたので、正しい選択をしなければなりませんでした。」

Andrew 氏は続けます。「評価の際に受けたサポートからは、ソフトウェアの購入を決めた際には Anaplan が優れたレベルのサービスを提供してくれるだろうという確信が得られ、事実その確信は正しいものでした。ソフトウェアの初期インストールの際も、製品を使用する方法や最大限に活用する方法について質問する際も、Anaplan のサポートは非常に優れています。最近では、マネジメント レポートを作成するにあたって大きな助力を得ています。」

## 新たな展望

Anaplan XL Reporting の高度な Excel 統合によって、Marshalls 社は多数の異なるソースから得たデータをインタラクティブなレポートへと統合することができています。ユーザーは一部のレポートで必要とされる複雑な統計分析を実行できます。また、Anaplan XL Reporting の視覚化ツールで強化された Excel のネイティブなチャートを使用して、情報をインタラクティブに表示できます。アナリストは IT 開発リソースの手を借りなくてもレポートを作成できます。レポートは Anaplan XL Reporting に公開され、SharePoint 内に埋め込まれるため、ダッシュボードレポート作成用のソースが一元化され、バージョンの問題が生じることはありません。レポートを使用するのに、ユーザーのマシンにソフトウェアをインストールする必要はなく、トレーニングも最小限で済みます。



**経営陣がビジネスを運営するために必要な情報に時と場所を選ばずアクセスできることが、かつてないほど重要になっています。私たちが今それを実現できているのは、Anaplan XLのおかげです。**

**Chris Harrop 氏**  
グループ マーケティング ディレクター、  
Marshalls 社

Andrew 氏は言います。「直感的に使用できるレポートの作成に注目しました。エンド ユーザーがレポートを使用するのにサポートはほとんど、あるいはまったく要りませんが、ウェブ版自体は非常に強力で、ユーザーが望めば高度な作業も可能です。新しい ProClarity 変換ツールを使用して既存のレポートを素早く変換できるようになりました。また、iPad でダッシュボードにアクセスできるようになっています。これも本当に快適に動作します。」

Marshalls 社は、最初の管理ダッシュボード交換プロジェクトを成功裏に完了してから、アドホックレポート作成のための Anaplan XL Reporting を 150 人の主要ユーザーに展開しました。Andrew 氏によれば、Marshalls 社はさらに先を目指しています。

「Anaplan XL Reporting を使用して、当初想定していたよりも多くのことをすでに実現しています。たとえば、欧州ではオペレーションのために顧客サービスの手段を自動化できました。私たちには Anaplan XL Reporting を使用して製造やファイナンスなどの領域でレポートを幅広く改善するという構想が多数あり、特注のシステムを交換しようとしています。この製品は元から非常に優れていましたが、リリースのたびに改善され続けています。v7 の SQL 機能は、OLAP データと SQL データを組み合わせることでレポートを作成するのに役立つほか、ユーザーが概要レベルの KPI を確認し、それらを素早く掘り下げて深いレベルの詳細を把握できるようにします。」

私たちは自社のビジネス全体で Microsoft テクノロジーの導入に投資してきました。今、当社の BI 戦略の中核を成しているのは Anaplan XL Reporting です。Anaplan XL Reporting を利用することで、現在自社のシステム内にある膨大な情報から最大の価値を引き出して、テクノロジー導入への投資を最大限に活用できています。」